

「どぼくカフェ」が目指すもの

2013年6月27日（木） 18:00-20:00

より良い社会を実現するため、道路や上下水道などの土木施設を整備、運用することにより、公共として社会と向き合う土木は、1970年代までの我が国の社会生活向上を支え、社会から一定の支持を受けてきました。一方、現在では、談合や公共事業などを取り巻く報道を挙げるまでもなく、社会から見放されているように思います。かつては学術の最前線にいた土木が社会から見放された過程は、すべての科学分野が将来通る道かもしれません。このような現状を踏まえ、2010年より「どぼくカフェ」を始めました。

4年目を迎えた「どぼくカフェ」の事例を紹介しながら、マイナスからの科学コミュニケーションについて、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。（ゲストより）

ゲスト 高橋 良和 氏

京都大学 防災研究所 准教授

1970年生まれ。京都大学工学部土木工学科卒業。京都大学工学研究科を経て、1996年京都大学工学研究科助手。2006年より京都大学防災研究所にて現職。専門は耐震工学。

会場 京都大学 吉田泉殿

- *京町家風の建物です。
- *普通の家のように見えるので、通り過ぎないようにご注意ください。
- *入り口に「京都大学吉田泉殿」という看板がかかっています。

定員 25名程度

- *当日参加も可能です！
- *お申し込みをいただいた方には、リマインダーをお送ります。

持ち物 (おなががすく時間なので) 夕ご飯を持参ください。



主催 科学コミュニケーション研究会 関西支部有志

水町 衣里、工藤 充（京都大学）、加納 圭（滋賀大学）

お申し込みはコチラから → <http://bit.ly/111awUL>